

心和得天真

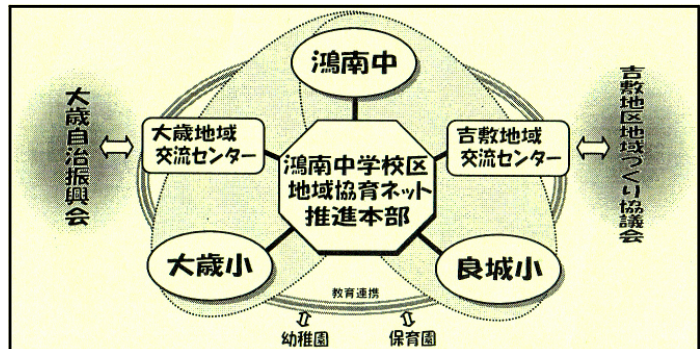
大歳小学校 学校だより
平成25年 12月

～心和して天真を得る～

今年もお世話になりました。

まもなく、2013年が終わります。この1年間、保護者の皆様を始め、多くの方々に本校の教育活動に関わっていただきました。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

今年の大きな動きの1つに「鴻南中学校区地域協育ネット」が立ち上がったことがあげられます。これは、「鴻南中、大歳小、良城小の3つの小中学校とそれらの学校のPTA」「大歳自治振興会」「吉敷地区地域づくり協議会」「幼稚園や保育園」等々、子どもたちに関わるさまざまな機関が力を合わせ、「協」働して、子どもたちの生きる力を「育」むことを目的とするものです。



これまで、登下校の見守りなどの子どもたちのためのさまざまな活動が行われてきましたが、一層の充実を目指した取組が進んでくると思います。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ皆様の力をお貸しください。よろしく願いいたします。



先日、本校の3年生が地域の「いちご農園」を見学させていただきました。広いハウスいっぱい青々とした葉を茂らせ、赤いきれいないちごがたくさんなっている様子を見学しました。地面に植えずに胸の高さになるように植えていることや畝の向きなど、農家の方のすごい工夫や知恵が詰まっていることを学ぶことができます。地域の方々のご協力あればこそこの学習です。

折々の話②

少し前のことになるが、本校の教員からおもしろい話を聞いた◆授業が終わった休憩時間に、ある子どもが「やられたら、やり返す。◆恩返しだ！」と言ったというのだ。流行語大賞に選ばれた「倍返しだ！」が基になっっているのはすぐにわかるけれども、それにしてもなんとセンスのよい言葉であるのか◆このパロディの出所は定かではなく、その子のオリジナルなのか、それともどこかで聞いたものなのかは、分からない◆いづれにしても、「倍返し」を一文字変えて「恩返し」にするだけで、意味が正反対になる点はともおもしろい◆「倍返し」は仕返し、恨みを感じられるが、「恩返し」は感謝、思いやりがそのベースにある。「倍返し」は、ドラマの中だけに、現実の私たちの生活は「恩返し」でありたいと思う◆年末。一年間を振り返り、恩返しをしたい人を指折り数えてみたい。終業式では、子どもたちに「ありがとうと言いたい人を数えてみましょう」と話をした。

本から飛び出せごちそうメニュー

読書の秋にちなんで、11月8日の給食は「からすのパン屋さん」という絵本のシリーズにちなんだ給食メニューを取り入れました。絵本の中では、いろいろな動物の形をしたパンが出てきます。そんな絵本に合わせて、象やウサギの形をしたパンを使ったのです。いわば、読書と給食のコラボレーションです。

この絵本はシリーズになっていて、心温まるすてきな話がたくさん入っています。ぜひご一読を。



「ミュージカル 星の王子様」

12月4日に、劇団「風」によるミュージカル星の王子様を観る会を設けました。体育館が、一晚の間に劇場に変わっていて、子どもたちはびっくりです。劇中には、本校の教員も特別出演で登場して、子どもたちはまたびっくりです。

至近距離で演劇を観て、劇の登場人物と一緒に歌を歌って、5年生は舞台に上がって前半のクライマックスに出演しました。

日頃一緒に過ごしている仲間と一緒にこのような体験をすることは、子どもたちに思い出以上の何かを残すものと思います。

なお、6年生は山口市民会館で行われた劇団四季のミュージカルを鑑賞しました。市内の6年生が一堂に会してのこの企画。芸術の秋を締めくくるにふさわしい、2つの行事でした。

持久走大会

(11月29日)

持久走大会は、とても寒い一日になりました。時々、小雨が降るあいにくの天気の中でしたが、子どもたちは元気いっぱい最後まで走りました。

保護者の皆様には、温かい声援をいただきありがとうございました。



仲良し班 縄跳び大会

1年生から6年生までの仲良し班で、縄跳び大会を行いました。制限時間内に何人が飛べるかを競う企画です。

声を掛け合い、励まし合い、一生懸命に跳びました。

なかなかの好記録も出て、体も心も温まる楽しい会となりました。